



⑤ 中高 音楽科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「音楽」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から61までの通し番号になっており、例えば、25番を

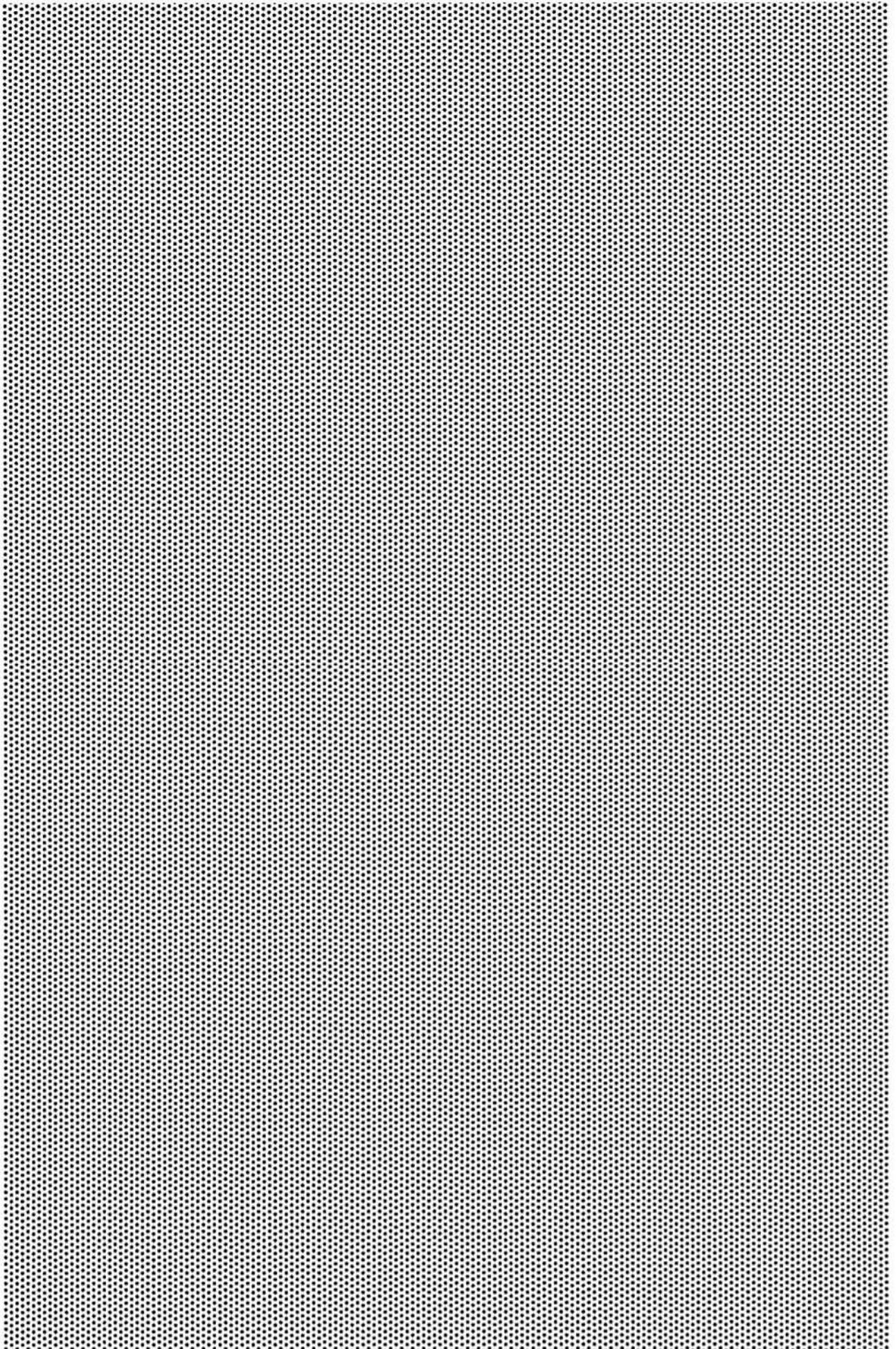
25

 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

フリガナ	コウベ タロウ	教科名	音楽
名前	神戸 太郎		

受験番号	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答
		1 - 25		26 - 50		51
数字で記入……	1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
	2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
	3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
	4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
	5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
	6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
	7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
	8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
	9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
	10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
	11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳教育に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にある。
- ② 多様な価値観の、時に対立がある場合は、対立が大きくなるように、問題に触れないように振る舞うことが、道徳教育で養うべき基本的資質である。
- ③ 道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。
- ④ 学校における道徳教育は、特別の教科である道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものである。
- ⑤ 学校における道徳教育は、児童（*生徒）の発達の段階を踏まえて行わなければならない。（*は、中学校、特別支援学校中学部）

1

(2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳科の目標の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、（ア）についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（*広い視野から）（イ）に考え、自己の（*人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、（ウ）と態度を育てる。

（*は、中学校、特別支援学校中学部）

- ① （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 実践意欲
- ② （ア） 道徳的諸価値 （イ） 総合的 （ウ） 論理的思考力
- ③ （ア） 人権 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力
- ④ （ア） 人権 （イ） 総合的 （ウ） 実践意欲
- ⑤ （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力

2

- (3) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）「第3章 道徳科の内容」では、指導すべき内容項目をA B C Dの4つの視点で分類整理し、その内容を端的に表す言葉を付記したものを見出しにして、内容項目ごとの概要、（*学年段階ごとの）指導の要点を示している。次のアとイはA B C Dのどの視点に分類されるものであるか、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。（*は、小学校、特別支援学校小学部）

ア [礼儀]

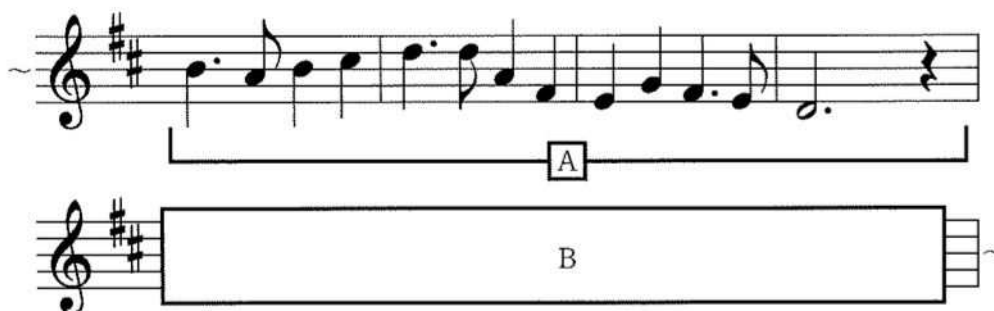
イ [伝統と文化の尊重、国家や郷土を愛する態度]

項目

- A 「主として自分自身に関すること」
B 「主として人との関わりに関すること」
C 「主として集団や社会との関わりに関すること」
D 「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」

- ① ア A イ B
② ア A イ C
③ ア B イ C
④ ア B イ D
⑤ ア C イ B

【2】 次の楽譜は、ある歌唱教材の一部分である。下の問いに答えよ。



(1) この楽曲の作曲者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 山田 耕筈 ② 井上 武士 ③ 岡野 貞一 ④ 橋本 国彦
⑤ 文部省唱歌（作曲者不明）

4

(2) この楽曲の冒頭に示されている強弱記号を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① *p* ② *mp* ③ *mf* ④ *f* ⑤ *ff*

5

(3) この楽曲の速度として正しいものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ♩=60ぐらい ② ♩=76ぐらい ③ ♩=92ぐらい ④ ♩=126ぐらい ⑤ ♩=144ぐらい

6

(4) Aの部分にあてはまる1番の歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① なぎさのまつに ふくかぜを
② なみをこもりの うたときき
③ すいてわらべと なりにけり
④ たかくはなつく いそのかに
⑤ さわぐいそべの まつばらに

7

(5) この楽曲の歌詞にある「とまや」の意味を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 一年中絶えることなくさいている花
② すばらしい音楽
③ かやなどの草で屋根が作られている家
④ しろいさざなみ
⑤ 横に長く引く

8

(6) **B**の部分にあてはまる旋律を①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

9

(7) この楽曲の曲想を特徴付けている説明として、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- a 二分の二拍子で、行進曲調である。
- b 七五調の定型詩による文語体の歌詞で、言葉のもつ力強さが感じられる。
- c 言葉のリズムや旋律のもつリズムが、似たリズムで統一されている。
- d A (a b)、B (c d) の二部形式であり、A、Bともに低い音域から始まって徐々に高まり、緩やかに大きな起伏をつくる旋律である。
- e リズムや旋律の音の動き、強弱の変化が、打ち寄せる波など歌詞の内容を表している。

① a・b・c ② b・c・d ③ c・d・e ④ a・b・d ⑤ b・c・e

10

(8)「歌詞の表す情景や曲想を感じ取って歌おう」という題材を設定し、この楽曲を教材として小学6年生に授業を行う。指導の手立てとして適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 歌詞のもつリズムに注目しながら歌詞を音読し、七五調で続く言葉のリズムを感じ取るようにする。
- ② 盛り上がりを見つけ、強弱を工夫してまとまりのある表現を目指すようにする。
- ③ 旋律の中で多く使われているリズムを見つけたり、旋律の動きに注目して手を動かしたりするようにする。
- ④ 旋律のもつリズムや流れ、旋律のまとまりについて考え、付点2分音符と8分音符の組み合わせのリズムを意識して歌うようにする。
- ⑤ 歌詞の表す情景を思い浮かべ、無理のない頭声的発声を目指し、表現力のある声で歌うようにする。

【3】 次の楽譜は、ある歌唱教材である。下の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

(1) この曲の作詞者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 吉丸 一昌 ② 土井 晩翠 ③ 江間 章子 ④ 林 古溪 ⑤ 三木 露風

12

(2) この楽曲の作曲者についての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 秋田生まれ。東京音楽学校入学前は秋田県内の小学校で教鞭を執った。「かなりや」など数多くの親しみやすい童謡などを残している。
- ② 東京生まれ。「交響曲イ調」、混声合唱組曲「筑後川」などを手掛け、随筆家としても活動した。
- ③ 東京生まれ。東京音楽学校の教授として、またオルガン奏者としても知られる。
- ④ 東京生まれ。ベルリンに留学して音楽を学び、アメリカで自作の交響曲を演奏、また日本楽劇協会を設立するなど、日本の音楽の発展に貢献した。
- ⑤ 東京生まれ。父の転勤に伴い神奈川、富山、大分などで暮らした。東京音楽学校で学んだ後ライブ・ツイヒ音楽院に留学した。大分にこの作曲家の記念館が存在する。

13

(3) この楽曲の作詞背景として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 春の人々が賑わう様子
- ② 人の世の栄枯盛衰
- ③ 幼少期の自身の思い出
- ④ 戦後の復興への希望
- ⑤ 春を待ち遠しく思いながら過ごす様子

14

(4) この楽曲の速度として正しいものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ♩ = 60～66 ② ♩ = 72～84 ③ ♩ = 104～112 ④ ♩ = 120～126
⑤ ♩ = 138～144

15

(5) **A**～**D**の強弱変化について適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① **A** *mf* **B** *p* **C** *f* **D** *mf*
② **A** *mf* **B** *mp* **C** *mf* **D** *f*
③ **A** *p* **B** *mp* **C** *mf* **D** *mp*
④ **A** *p* **B** *mp* **C** *mf* **D** *f*
⑤ **A** *mp* **B** *mf* **C** *f* **D** *mp*

16

(6) **E**の部分の3番の歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① うつくしいうみ ② はるのゆうぐれ ③ かけていったよ
④ かぜのリボン ⑤ ないていたよ

17

(7) 曲にふさわしい歌唱表現をするために必要な発声や言葉の発音、身体の使い方について説明したものについて、ふさわしくないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 両足を軽く開いて立ち、下半身を安定させる。
② 背筋をまっすぐに伸ばし、上半身に力を入れる。
③ おなかだけでなく背中にも空気を入れるような感じで吸う。
④ 眉の間のあたりを意識し、そこに響きを集めるような感じで声を出す。
⑤ 鼻濁音に気を付けながら歌う。

18

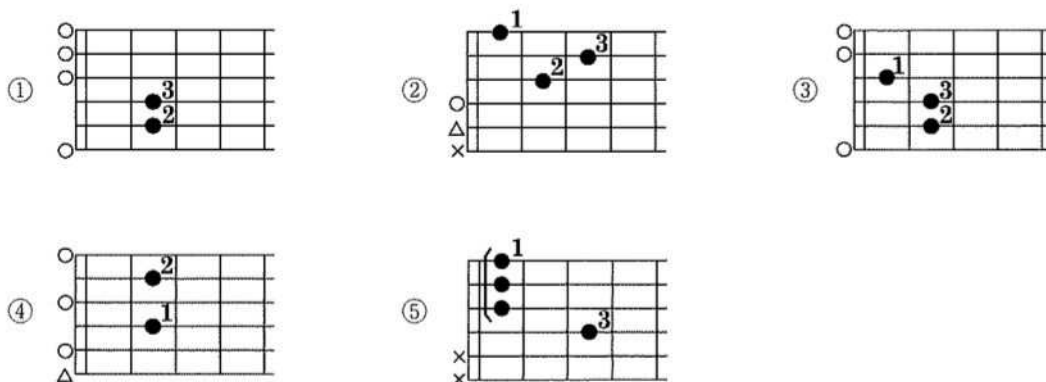
(8) 「詩や曲の背景を理解し、情景や気持ちが伝わるように工夫して歌おう」という題材を設定し、この楽曲を教材として中学3年生に授業を行う。学習活動としてふさわしくないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 歌詞の内容から1、2番と3番の心情の違いについて考える。
② 弱起による歌い出しに留意し、フレーズごとの音の動きの違いや旋律の反復などの特徴を生かして歌う。
③ 強弱の変化によってどのような雰囲気がするのか、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい表現方法について話し合う。
④ 曲の背景を調べ、詩の内容や曲の背景と曲想との関わりを理解し、演奏に生かす。
⑤ 原曲のオペラを鑑賞し、曲に込められた想いを考え表現に生かす。

19

【4】ギターについて、次の問いに答えよ。

(1) Emのダイアグラムを①～⑤から選び、番号で答えよ。(○は開放弦、×は演奏しない弦、△は任意で演奏する弦、括弧線はセーハである。)



20

(2) 次の文章の表しているギターの奏法を①～⑤から選び、番号で答えよ。

弦をはじいた指を隣の弦に当てて止める奏法

- ① アル アイレ ② アポヤンド ③ ラスゲアード
 ④ アルベッジョ ⑤ ストローク

21

(3) クラシックギターの演奏方法について、適切でないものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- a フレットのすぐ近くを押さえ、手首が反らないようにする。
 b 左手の親指を1フレットの裏側辺りに置き、てのひらはネックに触れないようにする。
 c 指板が見やすいよう、肩の力を抜き、軽く背筋を丸め前かがみに構える。
 d ヘッドは肩の位置より上がらないようにする。
 e 楽譜にmと示されている音は、右手の中指で弦を弾く。

- ① a・b ② a・e ③ c・d ④ a・c・d ⑤ b・d・e

22

【5】日本の楽器に関する次の問いに答えよ。

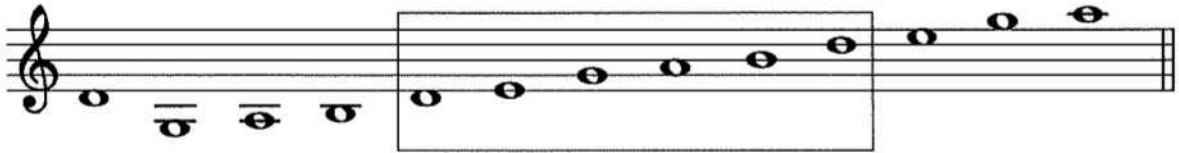
(1) 次の唱歌が表している箏の奏法を①～⑤から選び、番号で答えよ。

ツン

- ① 引き色 ② 割り爪 ③ かき爪 ④ 押し手 ⑤ 流し爪

23

(2) 次の楽譜は箏の一の弦を二音に調弦した乃木調子である。[]で囲まれた部分は何音階か。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 都節音階 ② 陽音階 ③ 民謡音階 ④ 陰音階 ⑤ 律音階

24

(3) 次の文章が表している三味線の奏法を①～⑤から選び、番号で答えよ。

ばちでは弾かず、左手の指先で勘所を打つ奏法

- ① スクイ ② ウチ ③ タタキ ④ ハジキ ⑤ スリ

25

【6】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。



(1) この曲について説明した下の文の (ア) ~ (オ) にあてはまるものをそれぞれ①~⑤から選び、番号で答えよ。

この楽曲の作曲者 (ア) は様々なジャンルで多くの作品を残した人物であるが、特に (イ) を数多く手がけたことで知られている。その数は (ウ) 曲あり、今日でも頻繁に演奏され、広く親しまれている。

この楽曲は自身の (イ) の一曲の旋律を主題とする (エ) として作曲され、(オ) によって演奏される。

(ア)

- ① R.シューマン ② J.ブラームス ③ C.ドビュッシー ④ F.シューベルト
⑤ F.リスト

26

(イ)

- ① 歌曲 ② オペラ ③ 交響曲 ④ ピアノソナタ ⑤ 弦楽四重奏

27

(ウ)

- ① 9 ② 24 ③ 約30 ④ 約600 ⑤ 約1000

28

(エ)

- ① 夜想曲 ② 変奏曲 ③ 狂詩曲 ④ 協奏曲 ⑤ 即興曲

29

(オ)

- ① ピアノ・ヴァイオリン・チェロ
② ピアノ・第1ヴァイオリン・第2ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ
③ 第1ヴァイオリン・第2ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス
④ 歌・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス
⑤ ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス

30

(2) 「曲想の変化と音楽の構造との関わりについて理解しよう」という題材を設定し、この楽曲を教材として、小学5年生に授業を行う。学習活動として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 旋律を口ずさんだり、原曲を歌ってみたりして主題を確認する。
- ② 主題に気を付けて聴き、主題の変化について気付いたことを交流する。
- ③ 作曲の背景や作曲された時代のことを調べてまとめる。
- ④ 楽器同士の関わり合いや伴奏の効果に注目して聴く。
- ⑤ 旋律やリズム、調性による曲想の変化、強弱の変化などを聴き取る。

【7】 次の楽譜と文章について、下の問いに答えよ。



この楽曲の作曲者は、ドイツの（ア）で音楽家の家系に生まれた。長兄からオルガンの基礎を教わり、18歳からドイツ各地の教会や宮廷に仕え、そこで_A数多くの楽曲を作曲した。この作品は_Bフーガという技法を使用して作曲された（イ）の曲である。

(1) (ア)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① アイゼナハ ② ケーテン ③ ワイマール ④ ライツツィヒ ⑤ ベルリン

32

(2) 下線部Aについて、この作曲家が作曲を行っていないジャンルを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 協奏曲 ② 受難曲 ③ オラトリオ ④ オペラ ⑤ 世俗カンタータ

33

(3) 下線部Bについて、この技法の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 厳格な模倣による対位法的手法。一般的には同一の旋律を複数の声部が一定の間隔を置いて模倣していく。
② 主題となる旋律が違う旋律を挟みながら繰り返し現れる形式。
③ 冒頭に提示された主題が、複数の声部間で対位法的に音の高さや調を変化させながら、発展していく形式。
④ 2つの主題を対比的に用いて、技巧豊かに展開していく形式。提示部・展開部・再現部の3つの部分からなる。
⑤ 三部形式を発展させた形式で、基本的なものは、各部が二部形式・三部形式からなる。

34

(4) (イ)にあてはまるものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 3声 ② 4声 ③ 5声 ④ 6声 ⑤ 8声

35

- (5) 次の写真は、この楽曲で使用される楽器の一部である。鍵盤の左右両側にある[C]の正しい名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① バルブ ② フレット ③ ストップ ④ ダンパー ⑤ ミュート

36

- (6) 「パイプオルガンの豊かな響きを感じ取りながら、旋律が重なりあっていく面白さを味わおう」という学習のねらいを設定し、この楽曲を教材として中学2年生に授業を行う。指導上の留意点として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 単に「主題」などの用語を覚えるだけの学習にならないよう、歌うなどの表現活動を伴って指導する。
- ② ハーモニーを重視する和声的な音楽と、それぞれの声部の旋律が独立して絡み合う多声的な音楽との違いについて、既習曲を用いて説明する。
- ③ パイプオルガンの多彩な音色を感じ取るために、「マニフィカト」など他のパイプオルガンの曲の一部を比較して鑑賞するよう促す。
- ④ 第1部は規則的に主題が現れるのに対して、第2部以降は主題が重なるようにして現れたり、不規則に現れたり、転調して発展したりしていることに気付くように促す。
- ⑤ パイプオルガンの豊かな響きや旋律が重なりあっていく面白さについて触れながら批評文を書き、意見交流をしながら、曲のよさや魅力について考えを深めていくよう助言する。

37

【8】我が国の伝統音楽について、次の文を読み、下の問いに答えよ。

文楽（人形浄瑠璃）は（ア）で生まれ、（イ）文化を背景にして発展した我が国の伝統的な人形芝居であり、演奏と人形によって人間の情を描いたさまざまな物語を表現する。

文楽（人形浄瑠璃）は太夫が（ウ）によって物語を進行する。1つの段の登場人物の心理や感情を（エ）語り分ける。三味線は太棹を使用する。また一体の人形を（オ）で操る。

(1) (ア)、(イ)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① (ア) 江戸 (イ) 武家
- ② (ア) 大坂 (イ) 武家
- ③ (ア) 京 (イ) 朝廷
- ④ (ア) 江戸 (イ) 町人
- ⑤ (ア) 大坂 (イ) 町人

38

(2) (ウ)～(オ)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① (ウ) 義太夫節 (エ) 太夫と三味線方で (オ) 4人
- ② (ウ) 常磐津節 (エ) 太夫と三味線方で (オ) 4人
- ③ (ウ) 清元節 (エ) 太夫が1人で (オ) 3人
- ④ (ウ) 義太夫節 (エ) 太夫が1人で (オ) 3人
- ⑤ (ウ) 清元節 (エ) 太夫と三味線方で (オ) 3人

39

(3) 文楽（人形浄瑠璃）の詞章において、音の高さを変化させながら長く延ばして語る母音を何と呼ぶか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 産み字 ② 唱歌 ③ ムラ息 ④ 竜舌 ⑤ 引き色

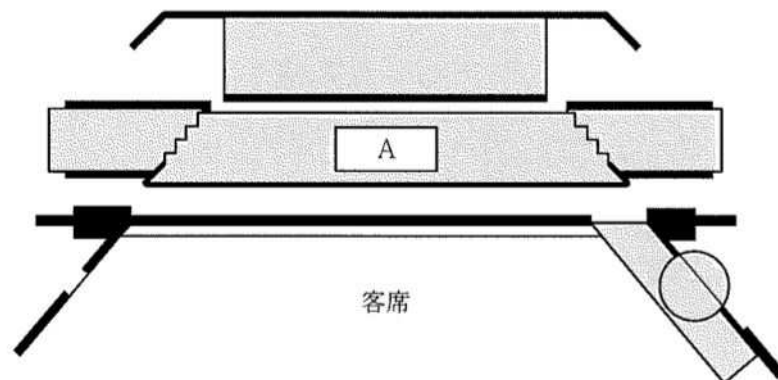
40

(4) 文楽（人形浄瑠璃）の囃子で使用される楽器に含まれないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 太鼓 ② 大鼓 ③ 小鼓 ④ 篠笛 ⑤ 箏

41

(5) 下の図は人形浄瑠璃の舞台を上から見たものである。Aの名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 屋体（屋台） ② 文楽廻し ③ 船底（舟底） ④ 床 ⑤ 御簾内

42

【9】 民族音楽について、次の文を読み、下の問いに答えよ。

(ア)は(イ)に伝わる民謡の一種であり、婚礼や祝い事、祭りの際に歌われる。(ア)は規則的な拍節をもたず、細かい節回しの歌い方を特徴とする。無伴奏または、A馬頭琴やBヨーチン、リンベなどが伴奏に使われることもある。

(1) (ア)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① カヤグム ② カッワーリー ③ オルティンドー ④ グリオ ⑤ ドウドウク

43

(2) (イ)にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① インド ② 中国 ③ ジョージア ④ ケニア ⑤ モンゴル

44

(3) 下線部Aの楽器をさす名称を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① コラ ② チャンゴ ③ タブラー ④ モリンホール ⑤ シタール

45

(4) 下線部Bと同じ打弦楽器として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① サントゥール ② タンソ ③ パラライカ ④ アルファー ⑤ サンポーニャ

46

【10】学習指導要領について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は「小学校学習指導要領 第6節 音楽」(平成29年3月 文部科学省)における学年の目標に関する記述である。第3学年及び第4学年に関する記述として適切なものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- a 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
- b 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- c 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- d 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
- e 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。

- ① a・b ② c・d ③ a・b・c ④ a・c・e ⑤ c・d・e

47

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領 第5節 音楽」(平成29年3月 文部科学省)における内容の取扱いと指導上の配慮事項に関する記述である。(ア)～(エ)にあてはまる適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア)との関わりを基に音楽の特徴を捉えたり、(イ)の過程や結果を表したり、それらについて他者と(ウ)したりする際には、適宜、(エ)活動も取り入れるようにすること。

- | | |
|---------------------|--------------|
| ① (ア) 知覚したことと感受したこと | (イ) 思考, 判断 |
| (ウ) 共有, 共感 | (エ) 体を動かす |
| ② (ア) イメージや感情 | (イ) 思考, 判断 |
| (ウ) 共有, 共感 | (エ) 互いに批評する |
| ③ (ア) 知覚したことと感受したこと | (イ) 思考, 判断 |
| (ウ) コミュニケーション | (エ) 互いに批評する |
| ④ (ア) イメージや感情 | (イ) 音楽に対する評価 |
| (ウ) 共有, 共感 | (エ) 体を動かす |
| ⑤ (ア) 知覚したことと感受したこと | (イ) 音楽に対する評価 |
| (ウ) コミュニケーション | (エ) 互いに批評する |

48

- (3) 次の文は、「高等学校学習指導要領 芸術編」(平成30年3月 文部科学省)における第2章 第1節 音楽Iの目標に関する記述である。□にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、□資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 我が国の伝統的な音楽を愛好し、伝える
- ② 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫する
- ③ 我が国及び世界の様々な音楽作品に親しむ
- ④ 音楽を愛好し、その良さを理解する
- ⑤ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる

49

【11】音楽史について、次の問いに答えよ。



(1) この楽曲のジャンルとして最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ヴァイオリン協奏曲 ② 交響詩 ③ 弦楽四重奏 ④ 交響曲 ⑤ ピアノ協奏曲

50

(2) この楽曲が作曲された時代の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 市民階級の隆盛に伴い、音楽の受容層が教会や宮廷から市民層へと移行した。性格的小品や標題音楽が発展し、ヴィルトゥオーゾと呼ばれる演奏家が活躍した。
- ② ホモフォニーによる明快な和声語法、ソナタ形式に代表される音楽形式の確立などがこの時代の大きな特徴である。また交響曲では2管編成が標準的なオーケストラ編成として定着した。
- ③ 伝統的な調性や拍節構造の殻を打ち破る作品が次々に生まれ、長短調の枠に収まらない無調の音楽が登場した。また、こうした流れに対して過去の形式や様式へと回帰する音楽も現れた。
- ④ 3度や6度の響きをもち多声的に展開する作品が登場する。音楽が徐々に教会の典礼の制約から離れはじめ、独立した音楽作品としての性格を持ち始めた。
- ⑤ オペラというジャンルが生まれ、伴奏はモノディー様式から通奏低音へと徐々に発展した。明快な長調・短調の響き、音量や音色の対比などの手法が好まれた。

51

(3) この楽曲の作者は国民楽派とされる。以下の作曲家のうち、国民楽派とされる作曲家として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- a バルトーク b グリーグ c クセナキス d ムソルグスキー e ボロディン

- ① a・e ② b・d ③ a・c・d ④ a・c・e ⑤ b・d・e

52

(4) この楽曲が作曲された頃の我が国のできごととして最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 長唄「越後獅子」の初演
- ② 音楽取調掛を東京音楽学校と改称
- ③ 足利義満が能を観能
- ④ 宮城道雄と本居長世の合同作品発表会「新日本音楽大演奏会」の開催
- ⑤ 三味線の伝来

53

- (5) この楽曲はアメリカのある民族音楽の影響を受けている。次の文はその音楽についての説明である。その音楽を①～⑤から選び、番号で答えよ。

アメリカで奴隷として使役された人々が、ヨーロッパの宗教歌の影響を受けながら生み出した独自の祈りの歌

- ① ゴスペル ② ソウル・ミュージック ③ スピリチュアル ④ フィールド・ハラー
⑤ リズム・アンド・ブルース

54

- 【12】 次の楽譜は、ある楽曲の一部である。下の問いに答えよ。

- (1) 楽語 **A** の意味として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 情熱的に ② 軽やかに ③ 生き生きと
④ 表情豊かに ⑤ 滑らかに

55

- (2) **B** をコード表記した場合、最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Bm⁺5 ② B aug ③ D7 ④ D dim7 ⑤ G[#] dim

56

- (3) **C** の音程として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、複音程の場合は単音程で解答するものとする。

- ① 完全8度 ② 長3度 ③ 減3度 ④ 短6度 ⑤ 長6度

57

(4) この楽曲は途中で転調しているが、2つの調の関係として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 属調 ② 下屬調 ③ 平行調 ④ 属調の平行調 ⑤ 同主調

58

(5) この楽曲と同じ拍子で演奏される舞曲として最も適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- a クーラント b プレー c サラバンド d タンゴ e シャコンヌ f ガボット

- ① a・c・e ② b・d・f ③ a・c・f ④ b・d・e ⑤ a・e・f

59

(6) この楽曲を長2度下に移調し、楽譜の1小節目から5小節目の主旋律をホルン（F管）で演奏したい。移調譜として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

60

【13】 次の旋律に対し、副旋律を創作する。条件1、2を満たして創作された副旋律として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

条件1：使用するコードは1小節につき1つとし、第1小節から順に **D→G→E7→A** とする。
 条件2：非和声音は経過音、刺繍音のみ使用可能とする。

D G E7 A

①

②

③

④

⑤